

団体名：佐切新鮮組

代表者：高屋 道子

所在地：京都府南丹市園部町佐切

〔ポイント〕

平成2年にパイプハウスを建て施設野菜の出荷を始めたが、どうしても規格に合わず出荷できない分が生じてきた。通常では廃棄を行うが、農家の高齢化や兼業化が進み、地元集落内でも野菜の栽培を行わなくなった家庭も増えてきており、平成3年に独自の直売施設を設置し、直売という形で各家庭に安価に供給。

また、収穫等の農作業を地元の女性に手伝いを依頼し、高齢者の活動の場を設けることにより、高齢化の進む集落の活性化につなげている。

【活動内容】

- 1．地域農業の振興への貢献、「顔が見え、話ができる」取組をすすめる
- 2．安心安全な農産物の生産、安心安全な農産物生産に関する勉強会の実施
- 3．地場産農産物を使用した加工品製造
- 4．小学校による食育への協力
- 5．スーパーへの契約出荷、南丹市園部町への給食材料の供給

【活動の成果】

直売所の利用者の多くが市内の者であり、地域内消費者への地元産農作物の理解と販売の促進により、地元農産物の地産地消が進んだ。また、道の駅朝市では顔写真を掲示して出品し、「みちの市」では対面販売をおこなうことにより、「顔が見え、話ができる」販売に取組んだ。

また、直売所では出荷野菜の出荷数量と売れ残り数量を把握し、毎日精算を行っており、日々の売れ行きを踏まえた、消費者の反応について各生産者と意見交流を行ってきた。こうした活動は、生産者の一層の意欲向上につながり、遊休農地の防止等集落内の活性化につながった。